

甲州古道の歴史

「甲州街道」は、古くは「甲州海道」あるいは「甲州道中」との呼び名もありました。ここでは「甲州街道」という表現に統一し、甲州街道の昔の道を「甲州古道」と表記しています。

甲州古道は、江戸時代以前から地域の人々の生活や交流の場として整備されました。江戸時代に幕府が甲州古道を五街道の一つとして整備した後においては、金を産出していた甲州に向かう「金の道」として発達し、また、西国の反乱から江戸を守る軍道としての役割も果たしてきました。

※甲州街道は古来より、ルート変更等が繰り返されていますが、この案内図で表現されている「古道」は主に江戸時代に制定された甲州街道を中心記載しています。そのため、本古道案内図記載以外のルートも甲州古道である場合がございますのでご了承ください。

甲州古道案内図

藤野編

KOSHU-KODO



写真協力：郷土資料館「ふじや」